

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】高島市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
42	2010.4.30			滋賀県	高島市	53,950	511.36
構想の要約		高島市は、これまで「地域新エネルギービジョン」「地域省エネルギービジョン」「環境基本計画」を策定し、地球環境にやさしい取組を進めてきた。バイオマス利活用を推進し、BDF事業並びに木質チップ活用の熱供給事業に加え、家畜排せつ物、食品資源、農産資源等を活用し、たい肥化やエネルギー化を進めることで、温室効果ガスの削減を図り、地球温暖化防止に対し積極的に取り組む。					
構想に盛り込まれた事業		1.畜産資源(家畜排せつ物) 2.食品資源(生ごみたい肥化事業) 3.廃食用油(BDF推進事業) 4.生活排水汚泥(汚泥たい肥化事業) 5.木質資源(製材工場残材・剪定枝・建築廃材) 6.木質資源(木質チップ活用の熱供給事業) 7.竹資源 8.農産資源(稲わら、もみがら)					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材	○		
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

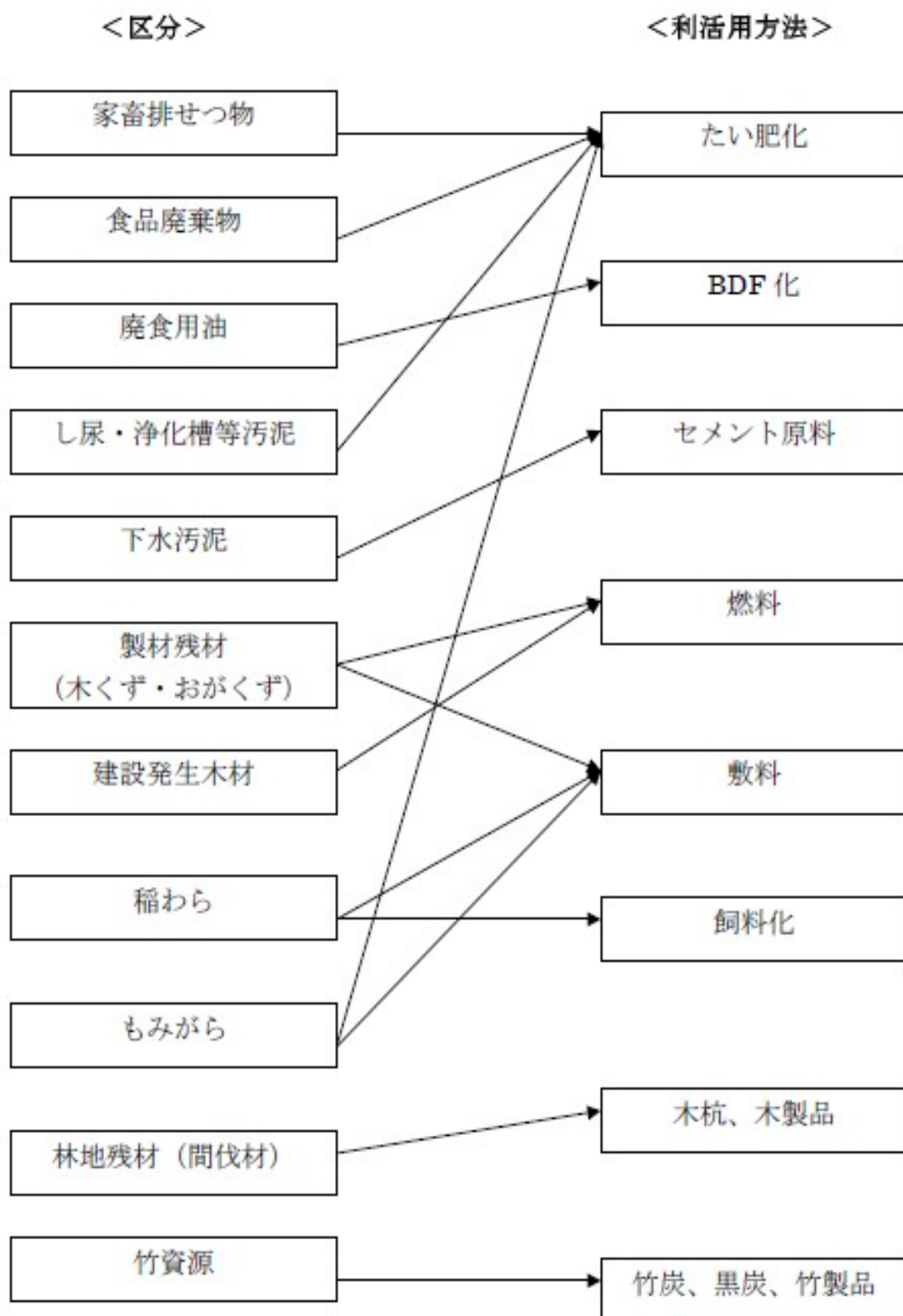
単位：t

バイオマス	賦存量		利活用方法	目標利用量		目標利用率
	湿潤量	炭素換算量		湿潤量	炭素換算量	
廃棄物系バイオマス	55,040.0	4,615.2		54,400.0	4,329.1	93.8%
家畜排せつ物	44,367.0	2,647.4	たい肥化	44,367.0	2,647.4	100.0%
食品廃棄物	2,809.0	124.2	たい肥化	2,809.0	124.2	100.0%
廃食用油	80.0	57.1	BDF化	64.0	45.7	80.0%
し尿・浄化槽等汚泥	409.0	39.3	たい肥化	409.0	39.3	100.0%
下水汚泥	2,609.0	250.5	セメント原料	2,609.0	250.5	100.0%
木質資源						
製材残材(木くず・おがくず)	2,766.0	616.1	燃料・敷料	2,766.0	616.1	100.0%
木質資源						
建設発生木材(建築物の解体撤去にでる建築廃材)	2,000.0	880.6	燃料	1,376.0	605.9	68.8%
未利用バイオマス	37,748.0	9,855.6		14,757.6	3,964.7	40.2%
農産資源(稲わら)	20,928.0	5,991.7	敷料・飼料化	8,999.0	2,576.4	43.0%
農産資源(もみがら)	4,435.0	1,269.7	敷料・たい肥化	1,920.6	549.9	43.3%
木質資源						
林地残材(間伐材)	8,665.0	1,930.0	木杭	3,466.0	772.0	40.0%
竹資源	3,720.0	664.2	竹炭・黒炭 竹製品	372.0	66.4	10.0%
合計	92,788.0	14,470.8		69,157.6	8,938	

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマスタウン構想フロー図



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)